

## 美しい多摩川フォーラム・平成26年度総会議事録

- ・日 時 : 平成26年5月25日(日)10:00~12:00
- ・会 場 : フォレストイン・昭和館 2階 シルバンホール(昭島市)
- ・来場者 : 会長、副会長、運営委員、監事、顧問、アドバイザー、一般会員等

(司会・渡辺) 開会までまだ少々お時間がございますが、事務局より幾つかご案内をさせていただきます。本日の総会の次第ですが、お手元の資料にもありますように、細野会長の開会挨拶の後、来賓の方のご挨拶があります。そのあと、経過報告をビデオ放映にてご覧いただき、議事に入りますが、第1号議案では平成25年度事業決算(案)、第2号議案では平成26年度事業計画・同予算(案)、第3号議案ではフォーラム規約の一部改正(案)についてご協議を頂きます。後半は、休憩を挟んで、山崎運営委員による講話、意見交換を予定しており、終了は12時頃となります。なお、広報用ビデオを撮影させていただきますので、あらかじめご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 1. 開 会

(司会・渡辺) 只今より、美しい多摩川フォーラム・平成26年度総会を開会致します。それでは、総会開会に当たり、事務局よりご報告させていただきます。

(事務局・及川) フォーラム事務局の及川と申します。どうぞよろしくお願い致します。本日は、会員数1600名中、委任状による代理人出席を含め189名の会員が出席され、書面議決書提出の会員671名を加えて、合計860名ということで、当フォーラムの規約第12条2項により、本総会は成立しておりますことを、まずもってご報告申し上げます。それでは、細野会長に開会のご挨拶をよろしくお願い致します。

### 2. 会長挨拶

(細野会長) 皆さん、おはようございます。恒例の総会です。あと一カ月と少し経つと、美しい多摩川フォーラムは発足8周年目に入ります。もう7年経ちますが、皆様のご支援とご協力により、ただいま約50事業を展開しております。改めまして、皆様のご協力に対して厚く御礼を申し上げます。今日は、井上環境副大臣をはじめ、高橋狛江市長、東京都様、大田区様、羽村市様もいらっやっています。この7年の間に、3.11がありました。そこで私たちは、「東北・夢の桜街道」事業を立ち上げました。これが反響を呼び、全国の運動になり、果ては台湾まで巻き込み、国際的になってきています。恐らくこれからまだまだ国際化のインパクトが出てくるのではないかと思います。それぐらい大きな運動になりつつあります。ただ、美しい多摩川フォーラムは、多摩川を中心にして活動しており、流域には400万人の方が住んでいます。その方々の生活や将来を考えながら、こ

の地域の活性化を目指しています。「美しい多摩川100年プラン」に基づいて、私たちや皆さんのお子さんやお孫さんまで続いていくような活動にしていきたいと思えます。この「100年」を考えると、「じっくり」という言葉で代表されると思えます。急ぐのではなく、ある時は時代の流れの中でどういう形で展開したら良いのか、あるいは地域は人口減少時代を迎えています。そういう時、世代でどういったフォーラムの活動ができるのか、谷川俊太郎先生が作った「多摩川の歌」、つまり、皆様の「心と心をゆるく結び」ながら、皆様と活動を続けて行くということになると思えますが、よろしくお願ひいたします。今日の総会は、平成25年度の活動報告と、平成26年度にどういう活動をしようかという話になりますが、総会は皆様に開かれております。どうぞ色々なアイデアをいただきたく思えます。心からそう願っております。平成26年度の活動のスタートにあたり、ひとつお願ひと、「東北・夢の桜街道」のご報告を少しご紹介いたしました。ぜひよろしくお願ひしたいと思えます。最後に、来賓の方々、お忙しい中、どうも有り難うございました。それでは、これから総会を開会します。有り難うございました。

### 3. 来賓挨拶

(司会) どうも有り難うございました。それでは、ご来賓の皆様からご挨拶を頂戴したいと存じます。まず初めに、フォーラムの顧問をお願いしている井上環境兼内閣府副大臣にご挨拶を頂戴したいと存じます。よろしくお願ひ申し上げます。

(井上信治様) 美しい多摩川フォーラムの総会、大変おめでとうございます。ただいまご紹介をいただきました、顧問を務めております、衆議院議員で現在環境副大臣、兼内閣府副大臣の井上信治です。今、細野会長からお話がありましたように、この美しい多摩川フォーラムも、もう8周年目、約50の事業を展開しているということですから、この7年間にわたり、会長をはじめ会員の皆様、あるいは事務局をお務めの青梅信用金庫など、関係者の皆様の多大なるご尽力に、心から敬意を表します。私の地元は、多摩川上流域の西多摩地域ですから、地元としても大変有り難いと思っておりますが、環境副大臣としても、美しい多摩川フォーラムの素晴らしい取り組みに対し、有り難いと感じております。環境省としても、この多摩川に限らず、日本の河川をきれいにしようと、例えば水質の浄化であったり、河川に棲む生態系の保護、流域の自然環境の保全など、様々な取り組みを行っています。しかし残念ながら、行政の力だけでは限界があるというのが事実です。ですから、この美しい多摩川フォーラムのように、流域の民間企業、NPO、市民団体、有識者の方々、住民の皆様など、多くの方々が協力をし、自発的に美しい川を作っていくと努力をされていることが、大変有り難いと思っておりますし、行政とも連携を取りながら、こういった運動を持続していただきたいと考えております。そして、環境副大臣としてもうひとつお礼を言わなければなりません。私は、今申し上げたような、自然環境の保全というような仕事と、もう半分は、被災地に通っています。福島第一原発事故の対応(除染、放射能廃棄物の処分)や、宮城や岩手を含めた被災地の再生復興に取り組んでいます。そういう私の身からしますと、「東北・夢の桜街道」は、素晴らしい試みだと思えます。ぜひ東北へのご支援・ご協力をお願いしたいと思えます。あの大地震が

ら3年2ヵ月が経ちました。でも被災者の方々27万人は、ふるさとに帰れず、避難をされています。私が被災地に行きますと、被災者の方々が今一番おっしゃるのは、「私たちのことを忘れないでほしいです」。私たちは東京に住んでいると、どうしても、あの震災のこと、原発事故のことが風化しがちです。しかし、被災者の方々にとっては、まだまだ厳しい現実です。だからこそ、東京からもしっかりエールを送っていく、できる応援をしていくことをお願いしたいと思います。最後になりますが、美しい多摩川100年プランということで、100年先の未来を見据えて活動をされていていらっしゃいますが、こういった素晴らしい試みであればあるほど、最初は良いのですが、持続させていくのが非常に難しいので、引き続き、皆様のご努力をお願いいたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。総会、おめでとうございます。

(司会) 有り難うございました。なお、井上様はこの後ご公務のため、ご退席なさいます。お忙しい中、有り難うございました。続きまして、東京都産業労働局観光部振興課観光まちづくり担当課長・小平房代様に、ご挨拶をお願い致します。

(小平房代様) 皆さんおはようございます。ただいまご紹介いただきました、東京都産業労働局観光部振興課観光まちづくり担当課長の小平でございます。本日は、私どもの観光部長の杉崎が出席させていただく予定でしたが、所用のため、私が変わって挨拶させていただきます。今回、多くの皆様のご支援により、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催が決定し、ますます観光の重要性が増してきています。そうした中、昨年、国の念願でもありました、日本を訪れる外国人旅行者が初めて1,000万人を突破しました。今後、ますます多くの方が国内外から東京を訪れることを期待しております。そうした中、多摩川フォーラムさんにおきましては、多摩川を中心とした企業や団体、住民の方々が、多摩川の魅力を高めるべく、今回も大変好評の中終了しました桜ウォーキングや清掃活動などを通じて、様々な取り組みがなされています。また今年度は、海外でもブームとなっている「日本酒」をキーワードに、新たに酒蔵を巡る事業を立ち上げる予定と聞いております。こうした地域の活性化を進めるための取り組みは、東京の観光振興においても大変素晴らしいことだと思っております。東京都としましても、皆様の地域の主体的な取り組みや、魅力を創出する事業について、お手伝いさせていただければと思っております。これまでの関係者の方々のご活動に敬意を表しますとともに、これからの皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。簡単ではございますが、本日は総会おめでとうございます。

(司会) 有り難うございました。続きまして、多摩川中流域の自治体を代表して狛江市長・高橋都彦様に、ご挨拶をお願い致します。

(高橋都彦様) 皆さんこんにちは。ただいまご紹介をいただきました、狛江市長の高橋でございます。昨年に引き続き、ご挨拶を申し上げたいと思います。5月1日現在、狛江市の人口は78,400

人となっています。これが一概に「多い・少ない」とは言えませんが、市役所を中心として半径2kmの中にスッポリ収まるコンパクトな街ですから、人口密度で言いますと、1平方キロメートル当たり、12,300人、都市部の平均が6,700人ですから、限界に近付いているのではないかと考えますが、まだまだ人口は増え続けているのが現状です。一方、市民は、多摩川を貴重な自然資産として感じており、多摩川に対して色々な関わりを持っています。その中でも一番大きなイベントとして、今年も7月13日に「第24回狛江古代カップいかだレース」を開催します。お陰様で、出艇数が増えており、「美しい多摩川フォーラム号」をはじめとして、今年は100艘を超えるのではないかと見込んでおります。この2年間、狛江市は、多摩川河川敷ではバーベキューを禁止しておりましたが、今年はその日だけは解禁してみようと思っております。上手く行けば、いかだレースのたびにバーベキューができるように考えてみたいと思っております。イベント前日には、狛江のブランド野菜である枝豆をつまみにしたビアガーデンも開いてみようと思っておりますので、興味を持たれた方はぜひご参加いただければと思います。私が市長に就任して今年で2年になりますが、市長就任直後に、わけが分からないまま、いかだに乗りましたが、乗せていただいたのが「美しい多摩川フォーラム号」でして、今年で3回目になりますが、できれば乗せていただきたいと思っておりますので、皆さんのご賛同をお願いしたいと思います。多摩川に関しては、10の自治体と国土交通省に参加いただき、5月4日に小菅村で開催された「源流祭り」をスタートとして、1年を通じたスタンプリーを実施しております。これについても皆さんのご参加をお願いしたいと思いますし、12月には、8つの自治体による郷土芸能フェスティバルを狛江市で開催します。多摩川に関わる色々なイベントを通じて、環境を守りながら多摩川流域の発展を目指していきたいと思っておりますので、ぜひ皆さんとともにこれからもこうした活動を続けて行きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。結びに、美しい多摩川フォーラムのますますのご発展と皆様のご健勝を祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はお招きいただき、誠に有り難うございます。

(司会)有り難うございました。続きまして、多摩川下流域の自治体を代表して大田区都市基盤整備部長・八嶋吉人様に、ご挨拶をお願い致します。

(八嶋吉人様) 皆さん、こんにちは。大田区長松原の代理で参りました、都市基盤整備部長の八嶋と申します。この総会に初めて出席しますが、こんなに立派で盛大な会だとは思わず、ラフな格好で登場してしまい、誠に申し訳ございません。松原区長であれば、ピシッとしたスーツ姿だったと思いますが、お許し願いたいと思います。下流域代表ということですが、フォーラムの皆様には、多摩川の浄化、桜の植樹をはじめ、様々なイベント活動で大変お世話になっております。この場をお借りして、感謝を申し上げます。有り難うございます。大田区としましては、昨年度、大変嬉しいニュースがあり、今日は多摩川でボートを楽しむ会様も出席されていますが、水辺の楽校が2地区で設立されました。区としても大変喜んでおりますし、これから大きく育てていきたいと思っております。また、今年度は大田区として非常に大きな分岐点を迎えております。「大田みらいプラン10年」という計画を進めてまいりましたが、昨年度で折り返しの5年が過ぎ、それまでの5年間の成

果や社会経済状況の変化等を踏まえ、後期5年プランの大幅な見直しを行い、今年度はその後半戦のスタートとなっています。その中で、東日本大震災があり、防災面、震災対策が大きな柱となっていますが、環境や景観に対する区民の方々の注目度や期待も、この5年で大きくなっていると感じています。多摩川につきましても、「やすらぎの水辺空間作り」や「水を感じられる街」といったものをスローガンに、区を挙げて取り組んでいきたいと考えております。また職員一丸となって、多摩川についても一生懸命取り組んでいこうと考えております。先ほど、東京都の小平課長様からも東京オリンピック・パラリンピックのお話がありました。大田区は、羽田空港を抱えており、国内外から羽田空港を利用していらっしゃるお客様が、初めて訪れる都市ですので、例えば、蒲田や大森などのまちづくり、拠点づくりにも力を入れているところですが、考えてみると、海外から羽田空港を利用して日本にいらっしゃるお客様が初めて目にする一級河川は、恐らく多摩川なのです。そういった意味でも、海外からいらっしゃったお客様が、「日本は美しい国だな」と感じていただけるような多摩川にしていきたいと考えております。これからも、美しい多摩川を目指して、フォーラムの皆さんと一緒に手を携えて努力を重ねていきたいと思っております。最後に、美しい多摩川フォーラムの益々の発展を祈念しまして、ご挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川上流域の自治体を代表して羽村市産業環境部長・加藤秀樹様に、ご挨拶をお願い致します。

(加藤秀樹様) ただいまご紹介いただきました、羽村市産業環境部長の加藤と申します。本日は、総会おめでとうございます。本来であれば、羽村市長の並木よりご挨拶を申し上げるべきところですが、あいにく他の公務と重なっており、欠席させていただいておりますので、市長からのメッセージを代読させていただきますことをお許しいただきたいと思っております。「このたびは、平成26年度の総会の開催、心よりお慶び申し上げます。本日は、公務のため、総会を欠席させていただきますことをご容赦いただきたいと存じます。多摩川上流域の行政を代表いたしまして、ひと言ご挨拶申し上げます。まず、細野会長をはじめとし、青梅信用金庫の皆様におかれましては、このフォーラムの運営に際しまして、日頃より一方ならぬご尽力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。さて、皆様ご案内の通り、美しい多摩川フォーラムには、多摩川を、美しい多摩づくり運動のシンボルに掲げ、民間の会員の皆様と行政の会員とが、それぞれ対等の立場で、経済・環境・教育文化、3つの観点から総合的な取り組みを行っていただいております。私ども羽村市といたしましても、春・夏を中心に、多くの市民や観光客の皆様にお越しいただいている多摩川の羽村堰を、皆様に気持ち良くご利用いただくため、さらには、羽村市のシンボルでもある羽村堰を美しく保つため、市役所職員ボランティアと市内企業による「多摩川クリーンアップデー」を実施しております。特に、昨年におきましては、平成23年度からこの事業にご協力をいただいている株式会社ジェイテクト様に加え、日野自動車株式会社様、カシオ計算機株式会社様との協働により、実施いたしました。なお、この取り組みは、本フォーラムの「多摩川クリーンキャンペーン」と連携し

ておりますが、当日は60人以上のご参加をいただき、行政と企業との協働という意味でも、大きな成果があったものと考えております。結びになります、美しい多摩川フォーラムの益々のご発展と、ご参会の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。本日は、総会おめでとうございます。羽村市長「並木 心」代読でした。

(司会) どうも有り難うございました。それでは、経過報告に移りたいと思います。事務局から説明をお願い致します。

#### 4. 経過報告 (ビデオ放映)

(事務局) 前にお座りの会長、副会長は、恐れ入りますがお席をご移動ください。それでは、経過報告をさせていただきます。まず始めに、美しい多摩川フォーラム等を母体に設立された、東北・夢の桜街道推進協議会による東北復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道運動」が高く評価され、本年2月、日本計画行政学会より「計画賞」優秀賞を受賞しました。この賞は、日本計画行政学会が、環境問題、高齢化、情報化など新たな社会ニーズに応え、持続可能な社会づくりに貢献する、革新的で先導的な計画を発掘し、これを表彰することを目的に設けられたものです。賞牌は、正面左手のテーブルをご覧ください。

なお、お時間の制約もありますので、定例事業等については、お手元の資料3ページをご参照いただければと存じます。本日は、フォーラム運動の報告として3本、また、東北・夢の桜街道事業の中から、シンボル事業であります「“美しき桜心の物語”の語り会」の様子をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

(ビデオ放映)

(事務局) いかがでしたでしょうか。会長、副会長は、元のお席にご移動ください。本日は、平野副会長にご出席をいただいておりますので、岩手県盛岡市での「“美しき桜心の物語”の語り会」のご感想やフォーラムに期待することなどについて、一言お願いします。

(平野副会長) 皆様、本日は大変お忙しい中、総会にご参加いただき、有り難うございます。多くの皆様がお席にいらっしゃるのを拝見しますと、皆様あっての、皆様に支えられているということを実感いたします。今、「東北・夢の桜街道」の映像が流れましたので、先にその話を簡単にいたします。今年も多くの皆様に集まいただきましたが、過去の2回に比べれば、関東、特に東京からのお客さまがかなり少なくなりました。神奈川や千葉も含めて、いままで何十人というお客さまが、鉄道やバスに乗ってお集まりいただいたのですが、その皆さんが、今度は元の自分自身の時間に戻り始めています。誰かのために助ける、支援するというよりも、自分自身の時間をどうしようかと、元の時間の使い方に戻り始めていることを実感しました。これがいわゆる「風化」ということなのかなと思いました。その一方で、楽しみとして来てくださる方が増えたことも確かです。そのあ

たりの意識の変化が、見ていて興味深いと感じました。実は私自身も、三春、塩竈、盛岡と、3度の語り会を経験し、東北の桜の魅力というものを実感しています。本当に美しいです。都市部だと、桜が早く咲いてしまったり、咲かなかったりと、なかなか読めなくて、都市部が生き物をそうさせてしまっているのかなと思うのですが、もちろん東北でもそうした現象は多少あるのですが、まだ従来の時間のリズムで花が咲いています。今年、私は忙しくて、東京で桜を見逃してしまいました。「今年は桜がきれいだったよ〜！」と聞くたびに、悔しくて悔しくてしょうがなかったのですが、東北に行ったらスッポリと春で、春にタイムスリップしたかのようでした。ビデオの中でも話が出ていた、盛岡市の米内浄水場には行ったことがなかったので、今回行ってみました。しだれ桜が満開で見頃を迎えていて、とても良かったです。桜の周辺を取り巻く環境が、昔ながらのアナログの世界で、美しく広がる農地で作業する人が昔ながらの風景で、川の水もきれいでした。桜を愛でる心があれば、どんな角度から運動に入っても、最終的に川をきれいにしようという環境の心に繋がるのではないかと、東北での経験を積み重ねて、改めて思いました。美しい多摩川フォーラムについても少し話をさせていただきます。現在、東京にいる時間がないほど出張が多く、ほとんど移動で時間を使っている状況です。しかし、出張先に行って驚くのが、美しい多摩川フォーラムのことを各地で聞かれるようになったということです。プロフィールには、私が関わっている事が同等に色々書いてあるのですが、むしろ別のところから、美しい多摩川フォーラムの存在をお聞きになっているようです。大阪に行った時にびっくりしたのですが、大手グループ企業の方から、美しい多摩川フォーラムのことを聞かれました。私は、3つの柱(経済・環境・教育文化)を話し、それらの柱を軸に、東京だけではなく、山梨や神奈川も含めた多摩川流域全体を活性化させる取り組みをしていること、そして、それら3つの柱の、どの角度から何をやっても、川がきれいになる方向に行くようになっているとお話しました。すると、「ぜひ美しい多摩川フォーラムと連携してやってみたい」「勉強させてもらいたい」とおっしゃっていました。最近、そうしたことに多く出くわすので、びっくりしております。このように、周りに知られるということのひとつには、もちろん多摩川で頑張っていることもありますが、美しい多摩川フォーラムで行っているいくつかのスキームを、そのまま東北復興応援に活かし、実際に活動が展開しているからではないかと思えます。そのことが、国としても、国策としてどうしても重要なことのように、この春、観光庁の海外からの訪日観光客を増やすための事業として、「東北・夢の桜街道」が採用されたそうです。美しい多摩川フォーラムのスキームが、確実に大きな柱となって入っているのが「東北・夢の桜街道」なのです。それが国策として採用されたということが、美しい多摩川フォーラムが全国に知れ渡っていったひとつの理由なのではないかと思っています。具体的には、この3月に、台湾の地下鉄で、「東北・夢の桜街道」のロゴや桜の花びらが車体や車内に散りばめられたラッピング広告の車両が走りました。実際その車両に乗った現地の方から、「まるで花見をしているみたい」といった反響があったそうです。詳しくは、お手元の資料をご覧ください。「東北・夢の桜街道」は向こう10年、美しい多摩川フォーラムは100年プランですが、今日ご参加の方、あるいは参加されていない方を含めた会員の皆さんは、震災直後に、「何か自分にできることはないか」と模索していたと思います。しかし、「何もできなかった」とは思わないでください。全国の方の多くがそう思ったと思いますが、少なくとも美しい多摩川フォーラムの会員の

皆さんは、現地に行かなくても、「東北・夢の桜街道」を支えている皆さんお一人お一人が、すでに復興応援をしているのです。ですから、「私は、震災直後から復興応援したよ」とおっしゃっていただけならと思います。皆様のお陰で、このような活動が展開できていると思っています。私は副会長としてたいしたことは何も出来ておりませんが、これからも皆様の貴重なご意見をいただきながら、進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)有り難うございました。なお、お時間の関係で、ご紹介できなかった活動が多々ありますが、フォーラムのホームページにビデオレターという形で動画をアップしているものもありますので、ぜひご覧くださいませ。以上で経過報告を終わります。

## 5. 協 議 (議長:細野会長)

(司会)これより本日の総会の議事運営に移りたいと思います。その前に、議長を選出する必要がありますが、当フォーラムの規約第12条3項により細野会長にお願いしたいと存じます。それは細野会長、議長席の方へお進みください。よろしくお願い致します。

(細野会長)細野でございます。それでは、規約によりまして暫らくの間、議長を務めさせていただきます。着席したまま進行させていただきますこととお許し願います。それでは、限られた協議時間ですが、皆様におかれましては、既に議案にお目を通して頂いているものとして議事運営を行わせて頂きたいと思っておりますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。早速ですが、事務局より第1号議案の説明をお願いします。

### (1)第1号議案：平成25年度事業決算(案)

(事務局)1 ページ、平成25年度事業決算(案)をご覧ください。それでは、まず、収入の部ですが、会費収入は、予算2,400,000円に対し、実績は2,396,000円となりました。因みに、本年3月末現在の会員数は、1,579会員となりました。その他の項目では、青梅信用金庫様、東急百貨店様、大田区民有志様による寄付金のほか、青梅市様からの委託金、とうきゅう環境財団様からの助成金加わり、収入合計額は14,777,635円となりました。一方、支出の部ですが、運営費の事務雑費については、封筒の増刷や経年劣化に伴いビデオカメラを購入したため、上振れしております。次に、活動費の多摩川“水”大学講座は、国分寺市様との共催により、会場費が無償となったため、下振れしております。多摩川教育河川事業ですが、多摩川子ども環境シンポジウムは、過去最高の子どもたちの参加があり、交通費等の参加に伴う経費が膨らんだほか、当初は予定していなかった「多摩川の歌」の発表によるピアノの調律費が発生し、みんなの発表誌・報告書のページ数も増えたため、上振れしております。炭焼き窯改修ですが、窯設置後5年が経過し、窯が老朽化したため、今年度で開催する炭焼き体験と水辺の交流会を見据え、昨年秋に炭焼き窯改修工事を行ったことによるものです。「多摩の物語」ですが、当初は、平成23年度から平成24年度にかけて、農林水産省関東農政局の交付金事業として実施し、完成した「多摩の物語」を冊子

にする計画を立てていたところ、予想以上に内容が充実したため、上振れしております。桜守学校は、小金井市様からご後援をいただき、会場費が無償となったため、下振れしております。最後に、東北・夢の桜街道運動ですが、青梅信用金庫が受賞したニッキン賞副賞50万円のフォーラム寄贈分を東北・夢の桜街道推進協議会に拠出したため、上振れしております。

さて、平成25年度決算の監査ですが、2ページをご覧ください。5月13日に、当フォーラム監事の館 盛和様、同じく山崎 眞義様より、監査を受け、監査報告書を頂いております。それでは、監事を代表して館様にご報告をお願い致します。

**(館監事)** 只今ご紹介に預かりました監事の館でございます。平成25年度事業決算(案)の監査結果について、山崎監事も同一見解ですので、代表してご報告致します。平成26年5月13日に、平成25年度収支決算書に基づき、帳簿及び証拠書類その他を精査した結果、相違ないと認めます。また、平成25年度活動実績書に基づき、事業の内容について監査した結果、適正であったことを認めます。以上でございます。

**(細野会長)** はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)…有り難うございました。それでは、賛成多数で第1号議案は可決承認とさせて頂きます。では、事務局より第2号議案の説明をお願いします。

## **(2)第2号議案：平成25年度事業計画・同予算(案)**

**(事務局)** 4ページ、平成26年度事業計画・同予算(案)をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は2,400,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、青梅市様より委託金として264,400円、とうきゅう環境財団様より助成金として、多摩川一斉水質調査項目拡充について536,500円、同じく多摩の物語について772,000円を予定しております。一方、支出の部ですが、総会等運営費として、4,070,000円、各種活動費として9,448,500円を計上しております。活動費のうち、美しい多摩川フォーラムの森づくりですが、本年2月の大雪の影響で、苗木の雪起こしが必要となったことから、別途費用が発生し、数万円程度上振れする見通しです。なお、東北・夢の桜街道運動として、2,000,000円を計上しておりますが、これは東北復興支援事業として、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出します。この結果、次期繰越金は945,709円となり、合計では、14,464,209円となります。

5ページをご覧ください。3本柱別に主な実施内容を一覧に纏めてみました。平成26年度につきましては、新規事業として、経済で「多摩川酒蔵街道」、教育文化で「美しい多摩川フォト教室」がありますが、基本的には継続事業が中心となります。環境をご覧ください。美しい多摩川クリーンキャンペーンですが、青梅市御岳の会場に加えて、今年度より、多摩市との連携により多摩川中流域の河川敷での開催を予定しており、調整中です。美しい多摩川フォトコンテストですが、今年度より、賞金額を引き下げ、別途副賞を考えております。また、新たに堤運営委員の協力を得

て、ファミリー賞、キッズ賞を新設することいたしました。

6ページをご覧ください。平成26年度事業計画(案)の趣旨説明ですが、読み上げます。

- 美しい多摩川フォーラムが平成19年7月に設立され、平成26年度は設立7周年を迎えます。これまで、民間会員と行政会員がそれぞれ対等の立場で議論を重ね、緩やかな合意形成に努め、平成20年4月に策定した基本計画「美しい多摩川100年プラン」に沿って、経済、環境、教育文化の3つの観点から、実践活動を展開してまいりました。
- 設立4年目あたりからフォーラムは安定稼働段階に入り、フォーラムの自立が進んでおります。また、東日本大震災を契機に、東北復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道プラン」が立ち上がり、「東北・夢の桜街道推進協議会」が設立され、3年目を迎えました。抱える問題の深刻さから、10年間支援していくこの運動は、国民運動へと着実に成長しています。
- こうした状況下、平成26年度につきましては、引き続き東北復興支援事業への拠出を織り込んだ上で、原案を取りまとめました。原案策定に当たっては、7年間の実践的な事業活動の成果や3つの活動部会での意見・提案等を踏まえ、以下の事業を選定しました。なお、本年度は、新規事業として「多摩川酒蔵街道」、「美しい多摩川フォト教室」を取り上げておりますが、全体としては、既存事業の継続実施が基本となっております。
- このように、平成26年度は、当フォーラムが各方面から地域づくり団体として高いご信頼を頂いていることを肝に銘じ、より円滑・堅実な運営を心がけてまいります。

以上で第2号議案の説明を終わります。

(細野会長)はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもって お願い致します。(拍手)…有り難うございました。それでは、賛成多数で第2号議案は可決承認とさせていただきます。では、事務局より第3号議案の説明をお願いします。

### (3)第3号議案:フォーラム規約の一部改正(案)

(事務局)9ページ、フォーラム規約の一部改正(案)をご覧ください。当フォーラムの行政会員が増加する中、フォーラムの運営をより適切かつ円滑に遂行するため、運営委員として、行政の拡充を図る必要があることから、運営委員(行政)の定数を拡大し、20名以上30名以内とします。私からの説明は以上です。

(細野会長)はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。

か。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。…有り難うございました。それでは、賛成多数で第3号議案は可決承認とさせていただきます。では、事務局より【その他】について説明をお願いします。

#### (4)その他

(事務局)10ページ、運営委員の補充に関する事項(案)をご覧ください。第3号議案が承認されましたので、これまで行政会員であった東京都瑞穂町長様、日の出町長様、檜原村長様、神奈川県川崎市長様が新たに運営委員になります。なお、美しい多摩川フォーラムの森づくり運動の拡充や、多摩川酒蔵街道の新設に伴い、フォーラム運営をより適切かつ円滑に遂行するため、運営委員として、有識者等の拡充を図る必要があることから、民間より、特定非営利活動法人緑の大地会理事長の浅見芳雄様、近畿日本ツーリスト株式会社首都圏西団体旅行支店長の平沼知己様を新たな運営委員としてご承認をお願い致します。私からの説明は以上です。

(細野会長)はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。…有り難うございました。それでは、賛成多数で【その他】は承認されました。

(事務局)ここで、新たに運営委員に就任されました日の出町長様よりメッセージをいただいておりますので、ご紹介致します。

「本日、平成26年度総会を迎えられ、お喜び申し上げます。第3号議案、フォーラム規約の一部改正により、平成26年度、行政会員から運営委員となりました日の出町でございます。本来であれば、総会の会場にてご挨拶を申し上げるところでございますが、本日は町の行事と重なってしまい、欠席させていただきましたことをお詫びいたします。日の出町は、多摩川の支流、清流平井川が流れ、多摩川夢の桜街道79番札所でもご紹介いただいております塩田耕地堤の桜の他にも見所は点在しておりますので、シーズンには是非足をお運びいただき、日の出町の豊かな自然に触れ合っていただきたいと思いますと考えております。最後に、今後のフォーラムの益々のご発展と、会員皆様のご健勝・ご活躍をご祈念申し上げます。東京都西多摩郡日の出町長 橋本 聖二」

また、本日ご出席の特定非営利活動法人緑の大地会理事長浅見芳雄様に、一言ご挨拶をお願い致します。

(浅見様)ただいまご紹介いただきました、緑の大地会の浅見と申します。当NPOは、7年前に多摩川フォーラムが設立されたほぼ同時期に、八王子で設立されました。その際、多摩川フォーラムの活動に感動し、環境分野でお手伝いをさせていただいております。当NPOは、植林、植樹、里山の復元、会員である造園屋さんの応援、街路樹の剪定、剪定材のチップ化・堆肥・土壌改良材作成やバイオマス発電の燃料としてリサイクル利用しています。今後も、多摩川フォーラムの環境分野に対してお手伝いできることを更に一層努力したいと思います。

(細野会長)はい、有り難うございました。皆様、どうぞよろしくお願い致します。以上で、全ての議案が承認されましたので、事務局にバトンタッチします。有り難うございました。

(事務局)それでは、この後、休憩となります。休憩を挟んで、講話となります。山崎運営委員はご準備をお願いします。準備が整い次第、始めさせていただきたいと存じますので、よろしくお願い致します。

－休憩(10分)－

## 6. 講話:「多摩川と私」(山崎運営委員)

(事務局)それでは、お待たせ致しました。今日は、山崎運営委員を講師にお迎えし、「多摩川と私」というテーマで、お話をいただきます。フォーラム会員の皆様には、多摩川およびその水系に関する現状認識や問題意識を高めていただけたら有り難く存じます。講師の山崎様は自然環境調査コンサルタントとして、外来種問題が深刻な多摩川で、NPO法人おさかなポストの会を創設し、飼い主に捨てられた魚など、生き物を保護する活動を行っています。また、子どもたちを対象にした川遊び教室、環境紙芝居、移動水族館などにも熱心に取り組まれています。最近では、テレビに数多く出演されていますので、皆さんもご存じのことと思います。それでは、山崎様、よろしくお願い致します。

(山崎運営委員)こんにちは。今日お集まりの皆さんは、多摩川が大好きで集まっている方が多いと思います。しかし、多摩川が好きであっても、多摩川の水に手を触れたり、多摩川で泳いだり、魚釣りをしたりすることはないと思います。私は、多摩川下流の川崎市多摩区に住んでいます。ここ、昭島付近の多摩川の水は、とてもきれいです。羽村の堰から奥多摩の水が流れてきています。しかし、川崎の多摩川は、これからご説明しますが、皆さんの知っている多摩川と少し違うかもしれません。私は多摩川で過ごして55年経ちます。55歳です。ずっと多摩川と関わりながら、多摩川に育ててもらいました。そういう関係から、今まで体験・経験・考えてきたことを、これからお話ししていきたいと思っています。人間は、水が無いと生きていけませんので、水をどうやって大事にしようか、そこで生きていく生き物たちについて、どのように考えていったら良いのかについて話していきます。まず、多摩川の話をしたと思います。多摩川は、東京と神奈川の境を流れる川と良く言われますが、実は山梨県笠取山が源流です。標高約2,000メートルの山の一滴の水から始まり、その水は奥多摩湖に溜められ、都民の大事な緊急時の飲み水となります。その後、白丸溪谷、鳩ノ巣溪谷、御岳溪谷などの風光明媚な所を通り、青梅市内を通り、羽村堰で取水され、最後に多摩川の河口である羽田空港の真横を流れていきます。先ほどもお話がありましたが、羽田空港は国際化されましたので、世界中のお客さまが日本に来て見る川は多摩川です。スライドに、①、②、③、④と番号がふってあります。多摩川の全長は138kmですが、多摩川のゼロkm地点はどこでしょうか。④は、D滑走路の先っぽです。③は、旧滑走路の先っぽです。②は、羽田空港国際線ターミナルのど真ん中です。①は、海老取川という、埋立地の境です。答えは、②です。②の場所

に、「建設省 多摩川 0km」と書かれた、8センチ角のステンレス鉢が打ってあります。なぜこの場所なのでしょう。対岸の川崎にヒントがあります。浮島の埋立地を決めた時に、建設省が多摩川の0km地点を決めました。その結果、対岸の東京都側は、羽田空港のど真ん中になってしまいました。この場所は、見に行くことができるので、もし機会があれば行ってみてください。先ほどの話に戻りますが、多摩川の水は羽村堰でかなり取水されてしまうので、多摩川の水量は少なくなってしまう。しかし、川崎には多摩川の水がたっぷり流れています。実は、多摩川下流の水の約70～80%は、下水処理場から放水された水が流れています。多摩川の下流の水のほとんどは、山が源流ではありません。なんと、皆さんのご家庭の蛇口の水が源流なのです。ですから、水をきれいにするのも、汚してしまうのも、皆さんの家庭の水の使い方ひとつで変わります。水道の水の使用目的は、次のようになっています。トイレ28%・風呂24%・炊事23%・洗濯16%・洗顔その他9%です。お風呂のシャワーは、どういう時に使いますか。シャワーは、身体を洗う時には使いません。身体を洗い、泡を流すために使います。身体を洗っている時には、シャワーの蛇口を閉めましょう。それだけで節水ができます。お風呂のお湯も、ひと晩冷ましてから洗濯に使ってください。そうすれば、多摩川の水温を下げる事ができます。多摩川の水は水温が高く、「タマゾン川」と呼ばれ、多摩川にアマゾンの魚が棲んでいます。お風呂のお湯が、冷めることなく多摩川に流されてしまうからです。下水場は、水をきれいにする機能はあっても、水温を下げる機能はありません。次に台所ですが、お皿にこびりついたカレーやスパゲッティの油は、紙で拭き取り、燃えるゴミに捨てましょう。下水処理場に流してしまうと、性能が極端に落ち、廃油ボールができます。最近、「お皿やタッパーに洗剤を一滴垂らすと、あっと言う間にきれいになる」という宣伝がありますが、あれはまやかしです。洗剤で油は消えません。水の中に溶け込むだけで、下水処理場で油と水に分離しなければなりません。ですから、なるべく油を流さない工夫をしましょう。次にトイレです。用を足した後、大・小のコックを使い分けていますか。小便をしたのに、大使用のコックで水を流していませんか。女性であれば、ペーパーが見えなくなる程度、男性であれば、泡が立たなくなる程度、小のコックを2～3秒保持して下さい。それだけで節水できます。さて、多摩川には、様々な橋が架かっています。その橋を渡って、毎日沢山の人が多摩川を見ているのですが、今までは、多摩川の水に手を触れる人がいませんでした。この写真は、多摩川に雪が降ったように見えますが、実は、昭和40年代の、泡だらけだった「死の川」の時代の多摩川です。魚は生きていけません。生きていても、背骨が曲がったり、おできができていました。「臭い・危険・汚い」ということで、誰も多摩川に行かなくなりました。結果として、みんなが川にゴミを捨てるようになりました。特に、川崎や大田区の川はひどかったです。しかし、昭和60年の少し前くらいから、「もっと水をきれいにしよう」「多摩川をきれいにしよう」という意識が働くようになりました。平成になると、多摩川に鮎が帰ってくるようになりました。現在、鮎の遡上がピークを迎えています。今年は、400万匹の鮎が帰ってくるのではないかと思います。少し前までは、100万匹が帰ってきて大騒ぎしていました。一昨年は1200万匹も戻ってきています。アゴヒゲアザラシの「たまちゃん」ブームも起こり、これが多摩川をきれいにする起爆剤になりました。よく見ると、付近に色んな生き物が増えています。鳥や魚、この写真はマルタという魚です。普段は海に棲んでいますが、春は卵を産みに多摩川に帰っ

てきます。大きさは60～70センチあります。こんなに大きな魚が、多摩川でバシャバシャ卵を産んでいます。まるで鮭のようです。この写真は、鮎の卵です。このような生き物が、どんどん多摩川に帰ってきています。この写真はタヌキです。多摩川の生態系の頂点にいますが、最近、アライグマやハクビシンなどの外来種によって、日本のタヌキは危機に瀕しています。川原に目を向けると、お花畑がいっぱいありますが、全部外来種です。西洋菜の花も外来の花です。多摩川の河原は、植物の98%が外来種になってしまいました。多摩川にはバーベキューを楽しむ人たちがいっぱいいます。二子新地の河原には、1日に5,000～10,000人の人がバーベキューをしにやってきます。その結果、河原はゴミだらけになりました。何故でしょうか。ゴミを持ち帰るという教育を受けなかったからです。非常に悲しい現実です。しかし、悪いことばかりではありません。写真のように、子どもたちとこうやって、色んな川遊びをします。多摩川は、怪我や事故さえなければ、何をやっても良い場所です。国民の共有財産ですから、誰が何をやろうと勝手です。ですから、子どもたちには、普段学校で「やってはいけない」ということを何でもやらせています。犬を連れて行って泳がせるのも在りです。結構楽しいです。ここまで子どもたちの色々な写真をお見せしましたが、気付きましたか。全員ライフジャケットを着ています。私はライフジャケットを400着持っています。子どもたちに、「水辺の事故を起こすな。もし君たちが事故を起こしたら、みんなが多摩川を嫌いになってしまうから」と話しています。学校のプールでライフジャケット体験もやります。普段は飛び込んではいけないと言われていても、ライフジャケットを着ていれば、どんな飛び込み方をしても、プールの底に頭をぶつけるということはありません。子どもたちには、「川に行く時は必ずライフジャケットを着て行こう」と指導しています。さて、楽しい夏が終わり、秋になり、冬になると、多摩川には朝霧が立ち込めます。先ほどお話したように、下水処理場から放水された水温が高いため、さして寒くないのに、湯気が出るのです。これが多摩川下流の現実です。多摩川の水温が上がっているため、簡単に飼える熱帯魚たちが多摩川に捨てられ、多摩川に棲みつきます。皆さんは青梅の多摩川を知っていますよね。結構冷たいと思います。しかし、ガサガサをやると、青梅の川でも外来魚が採れるのです。恐らく、捨てる人が多くなったのではないかと思います。ミドリガメも、とても可愛いのですが、大きくなると、食い付き、うるさい、糞を沢山するので、捨ててしまいます。カミツキガメも、40cmほどあるのですが、多摩川を泳いでいます。熱帯魚の楽園です。真冬になると多少は減ります。この写真は、環境省が作った標語です。「熱帯魚 逃がしてこわすな 生態系」。私が訴えて、応募して、これに賞が与えられました。私も調子に乗って、「タマゾン川」という本を書きました。いま私がやっている活動は、「おさかなポスト」という活動です。「多摩川に外来魚を捨てないでください。捨てるなら私が預かります」と訴えています。預かった魚は、里親学校や高齢者施設、老人ホーム、障害者施設へ預けて飼ってもらっています。もちろん個人でも大丈夫です。しかし、個人からは高額な入会金をもらいます。「ただならほしい」という方は沢山いますが、その人たちがまた捨ててしまわないか懸念されるので、高額な入会金をもらって免許証を確認し、誓約書を書いてもらってから預けています。こうしたことをテレビなどで宣伝したので、結構繁盛しています。繁盛していると言っても、商売をしているわけではないので、儲かりません。困ったのは大震災です。箆筒が倒れて水槽が割れてしまった結果、マンションの5階から下の階ま

で水で濡れてしまい、壁紙の補修代だけで数百万円弁償させられた経験があります。また、震災を契機に、みんなが魚を飼うことをやめてしまいました。その魚がうちのおさかなポストに集まり、一週間で1万匹が集まりました。この写真のミドリガメは、仙台から届きました。カメの甲羅に「里親募集中」と貼って、宣伝しています。次の写真は、八景島シーパラダイスでのイベントの様子です。次の写真は、小学校で飼ってもらっている例です。外来種を全部殺す必要はない。もう一度ペットとして飼ってもらえれば良いと思って活動しています。機会があつて、フォーラムのほうへご連絡いただければ、色々な形のイベントや子どもたちへの訴えかけができます。この写真は、「3. 11 灯籠流し」です。いま多摩川で灯籠流しをやっているのは、恐らく私たちだけだと思います。1時間半のイベントで、2,000~3,000人が集まりました。東北復興応援も兼ねて、色々な形でイベントを開催しています。まだまだ話すことは沢山あり、本来、学校で行う講演は、1時間半を費やしますが、今日は時間がないので、20分に凝縮しました。機会があれば、お声を掛けてください。今日、皆さんの頭の中で、少しだけでも多摩川の現実や、これからのことを考えていただければ嬉しいです。有り難うございました。

(事務局)山崎様、大変貴重なお話、有り難うございました。誠に申し訳ございませんが、お時間の関係もございますので、ご質問やご意見がありましたら、この後の意見交換でお願いします。それでは、山崎様に今一度大きな拍手をお願いします。

次に、意見交換に移りたいと存じます。会長、副会長は、恐れ入りますが、元の席にご移動ください。

## 7. 意見交換(細野会長)

(細野会長)さて、この機会に、今後のフォーラム活動を展望して、皆様からご意見・ご要望等を頂戴したいと存じます。

(会員)これは意見ではなく、希望なのですが、去年、日経BP社から「2052」という本が出版されました。この本を読まれた方はいらっしゃいますか？40年前に、ローマクラブで「成長の限界」という本が出版されました。それ以降、ローマクラブは、活動はしているものの、何も出版されませんでした。昨年、その時の執筆者の一人で、スウェーデンの学者が「2052」を出版し、今後40年の環境、経済、政治等に関する予測をまとめています。政治面でお話しますと、民主主義は時間がかかって駄目だそうです。うなずける点があります。良いことは書かれていません。本を読まなくても皆さんは想像がつくと思います。地球や子孫はどうなるのでしょうか。このままでいったら、生きていられなくなると思います。良い環境等という問題より、生命を維持できるかどうか、それさえ危なくなるのではないかと思います。この本は、2,300円ほどで、普通の本屋さんには置いていませんが、ぜひ皆さんにも読んでいただき、その上で、環境問題等に取り組んでいただきたいと思えます。私の寿命はあと2年くらいだと思いますが、これを遺言として残したいと思えます。

(細野会長)有り難うございました。他にございますか。

(会員)私は大田区の中央大学OB会の藤井と申します。今、悲観的な意見が出ましたが、私は楽観的な意見を申し上げます。私は多摩地区については、希望があると思っています。先日、都知事が代わりました。舛添さんは、着実にやっていくタイプだと思います。今後、多摩地区はどう変わっていくでしょうか。まずはリニアモーターカーです。東京、品川の次の停車駅は橋本で、最終は名古屋です。恐らく名古屋方面から来た方で多摩地区に来る方は、橋本で下車すると思います。すると、横浜線で八王子や多摩センターなどに繋がります。多摩地区は、外部環境が非常に恵まれているのですが、住民の声が小さく、積極的でない方が多いです。また、多摩地区には、環状モノレールの計画(93km)ができています。あとは実行するかどうかの問題です。平成12年に上北台～多摩センター(16km)が完成しました。現在、年間で6000万人が利用しています。今後、計画上の93kmがなるべく早く実行されるよう、多摩地区の住民が、国、東京都など各行政に訴えかける必要があると思います。行政は、こちらから声を出していかなければ実行しません。待っていたら動きません。町田市は積極的に動いています。本当は、箱根ヶ崎までのルートが先にできるはずですが、もしかすると、それよりも先に、多摩センターから町田までのルートが完成してしまうかもしれません。いま多摩地区の線路は、東京に向かって走っていますが、多摩モノレールによって多摩地区の南北が繋がりました。しかし、最終的に多摩モノレールが環状線になると、上北台～箱根ヶ崎～羽村～八王子～多摩センターが一気に繋がります。どこで乗っても、どこにでも行けるようになります。この延伸計画が、費用がかかることで難航しているのであれば、路面電車や2両連結のトロリーバスを走らせるのも良いかもしれません。恐らく多摩地区は、抜本的に変わっていくと思いますので、多摩地区の方はぜひ声を大きく上げ、行政に働きかけ、少しでも早く実行されるようにしてほしいと思います。

(事務局)皆さん、貴重なご意見を有り難うございました。今後のフォーラム活動に反映させて参りたいと存じますので、よろしくお願い致します。最後にひとつご案内です。本日の資料の中の、「ココエコチャリティー」のチラシをご覧ください。5月29日～6月25日までの期間で、東急百貨店様が、多摩川フォーラムのために、オリジナル・グッズを作成し、その売上金の一部をフォーラムに寄付していただく取り組みを毎年行っています。今年は特に、東急百貨店様が創立80周年にあたり、例年以上に力を注いでいると伺っております。皆さんも、ぜひ売上にご協力ください。寄付金は、多摩川の環境保全活動に役立てまいりたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

## 8. 会長総括 (細野会長)

(司会)さて、早いもので、総会のお開きの時間が迫ってきております。ここで、細野会長に総括をお願いしたいと存じます。

(細野会長) 総会の終わりにあたり、まず山崎運営委員からお話がありましたとおり、環境を守る

のも大人の責任であるということです。大人が範を示さなければなりません。せっかく純粋な気持ちで環境を守ろうという心が、萎えてしまうかもしれません。これは、とても残念なことです。私たち大人のほうから、環境を守る責任を自覚することが大事です。また、「3. 11」後の東北の話がありました。復旧・復興のスピードはなかなか加速しません。それは、「風評」という悪い評判が、時間が経ってもなかなかなくなるということです。他方、「風化」という、日本人の関心が、時間とともに低下しています。こうしたことが、復旧・復興を加速させない原因なのかもしれません。私たちは、東北・夢の桜街道運動を、皆様のご支援のもと推進しております。運動がスタートしてから10年間、皆様のお力をいただきたいと思います。来年、多摩川フォーラムは8回目の総会を迎え、いずれ10周年を迎えます。皆様のご支援により、立派な10周年を迎えられることを、今から期待しております。どうかよろしく願いいたします。

## 9. 閉会挨拶（森田副会長）

（司会）有り難うございました。それでは閉会挨拶と致しまして、森田副会長にお願い致します。

（森田副会長）閉会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、美しい多摩川フォーラムの平成26年度総会を開催させていただきました。ご来賓の皆様を初め、会員の皆様には、日曜日で何かとご予定があったかと存じますが、沢山の方にご出席をいただき、有り難うございました。上程させていただいた議案につきましても、全てご承認いただき、有り難うございました。平成25年度の活動は、先ほどビデオまたは司会の解説、参考資料などがありましたが、かなり多くの事業を実施することができました。これも、会員の皆様のご協力のお陰だと思っております。平成26年度の事業につきましても、ぜひご協力をお願いしたいと思っております。本日、山崎運営委員の講演がありましたが、少しそのことに触れたいと思います。毎年12月に、多摩川子ども環境シンポジウムを開催しています。子どもたちが、自分たちで研究した成果を発表する会です。私も毎回出ておりますが、非常に勉強になります。子どもたちは本当に良く調べていて、多摩川の水をどうしたらきれいにできるか、また、それを継続していけるか研究し、レポートにまとめて発表しています。これは子どもたちにとっても勉強になることです。先ほど会長からお話がありましたが、我々大人のほうがもっと勉強しなければならないのかなという気もいたしております。ぜひ、今年の活動もそうですが、お時間があれば、多摩川子ども環境シンポジウムにもお出かけいただければ大変有り難いと思っております。それでは、本日もご出席いただきました皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げまして、これをもちまして閉会とさせていただきます。本日は、大変有り難うございました。

## 10. 閉 会

（司会）有り難うございました。皆様、本日は長時間に亘り、会議進行にご協力を頂きまして、誠に有り難うございました。これをもちまして、本日の美しい多摩川フォーラム・平成26年度総会を閉会とさせていただきます。有り難うございました。以 上